

2010年6月吉日

ホンカラケンネ社、ハイチ大震災の復旧に参加する機会を調査中

ホンカラケンネ社(ホンカ・ジャパン親会社名)はログハウス製造で世界トップクラスの国際企業です。同社は現在までに、ハイチの復興作業への参加方法の調査を行ってきました。同社は、地震の状況下での耐久実験を基に設計されたログハウスの製造を行ってきたという強力なバックグラウンドを持っています。同社のログハウス製造・販売実績は数十年にわたり、顧客は全世界に広がっています。

1月にハイチを襲った地震では100,000棟以上の建物が倒壊し、300,000棟以上が損傷を受けました。ホンカラケンネ:フランス支社から派遣された代表は最近、フィンランドの事業者代表団とともに被災地を訪れました。

「我々は、安全で耐久性の高い住宅を提供することでハイチの復興を支援するより良い方法を検討するため、ハイチの専門家と良好な連絡関係を成立させたいと考えています」と、ホンカラケンネ社長兼CEOのエサ・ラウタリニコは語っています。

ホンカラケンネは復興への協力を強い興味を持っており、同社のログハウス製品が当地の建築として適していると考えています。これは、同社の製品が地震の多い地域で30年以上も活躍してきたという実績があるためです。世界の多くの市場において、耐震性と安全性はホンカ・ログハウスが選ばれる重要な要素になっているのです。

「我々は、日本で行われた実大振動実験で正銘された通り、ログハウスは地震強い、そして耐震性に優れたログハウスを開発してきました。当社のログハウスの多くが日本をはじめとする地震の多い地域に建てられています。そうした地域では日常的に地震が起こりますが、当社の提供した住宅はそのような環境でも高い耐久性を誇っています」と、エサ・ラウタリニコは説明します。

ハイチでは現在までに伝統的な木造建築のほとんどが姿を消し、コンクリートの建物が主流になっています。ログハウスは、伝統的かつ耐久性の高い建築を復活させる一助になるでしょう。

HONKA 

ホンカラケンネ:フランス支社はハイチの現地スタッフを雇用し、建築プロジェクトをより円滑に進める準備を整えています。それに加え、同社にはこれまでに多くの国際的プロジェクトを成功させてきた経験があります。創業以来 50 年以上、ホンカラケンネは様々な規模のホンカブランドのログハウスの製造・建設を世界各地で行ってきました。さまざまな厳しい自然条件に対応してきた実績があるのです。

さらに詳しい情報のお問い合わせ先:

ホンカラケンネ社, エサ・ラウタリンコ Esa Rautalinko,
電話: +358 20 5757 00 Eメール: esa.rautalinko@honka.com

または Anne-Maarit Sepling (ブランド広報マネージャー),
電話: +358 400 904 124 Eメール: anne-maarit.sepling@honka.com

Honka®ブランドで世界をリードするフィンランドの企業ホンカグループは、本物の木材だけを使用した木造住宅建築の製造と販売を行っています。ホンカ製品のラインアップには家庭用住宅、別荘、サウナをはじめ、ホテルやレストラン、休暇村などの大規模プロジェクトまで多様なタイプの製品があります。創業以来の 51 年間で、50 以上の国で 75,000 棟以上を販売した実績があります。全ての製品はフィンランドのカルストラとアラヤルヴィにある工場だけで製造されています。グループの本社はトゥースラにあります。2009 年のグループ全体の売上高は 5,230 万ユーロで、内 55%が輸出によるものです。従業員数は約 300 名、販売ネットワークは 30 カ国以上をカバーしていて、ドイツ、フランスおよび日本に支社を置いています。ホンカラケンネ社は、ファミリー企業の強力な結束を武器にしており、B シリーズ株式が NASDAQ OMX Helsinki の中小企業リストに上場されています。

ホンカグループホームページ www.honka.com

ホンカ・ジャパンホームページ www.honka.co.jp

HONKA 